

No 3/55 Cert. attached

電報

「ミラエス」より直通電線ヲ受信シタル一九二〇年三月二十四日三時十二分附集合電報第九八號

「ミラエス」ヨリ官已赤軍司令部、日本側攻撃事件ヲ龍江尾港ノ流血事件ニシテ、同様に通知スルト共ニ左ニ事件ハ詳報ヲ送ルニ依リ日本側カソノイエト赤軍ニ對シテ行フ裏切攻撃、全ク相信的ニテ犯罪的ナルヲ明白ナリニ居ルナリ。
日本側、我方ト和平締結後又赤軍ハ二月初メ尾港ヲ包圍シテ初メ「サヌイ」重要塞ヲ占領、後赤軍ヲ敵トシテ戰闘ニ參加シテ而シテ主要ニ參加者アリタル又日本側ニ完全ニ服シテ居ル白衛軍ヲ指導シテ居ル包圍戰ハ約一ヶ月ニ及ビ、其間赤軍司令部ハ三日ニ亘リ白衛日本軍隊ニ向テ和平提議ヲ行フ、司令部ハ長距離砲撃用重要砲ヲ備ヘ居ル「サヌイ」重要塞ヲ其ノ午ニ收メ居ルカ一兩日間ニ市ヲ占領スルヲ令ヘ手段ヲ持ツテ居ル然レ市ヲ砲撃シテ破壊シ平和ノ民ヲ危險ニ曝スニトテ破ニテ、戰ハズクニ市ヲ引渡サシメテ提議ス。
第一次、我方和平提議ハ日本側ヨリ回答シ、黙殺シ、派遣シテ軍使「ソロキ」殺サレタ。第二次、和平交渉提議ハ三名ノ軍使即ニ名、支那人及一名ノ露人、尤ソノト共ニ尾港日本側ニ送附カレタ、日本側回答、代リ

No 1

Doc 3/55

No 2

又々我方軍使、オルロフ野蠻的拷問シテ殺シタコトハ
我方市占領後國際調査委員會ニ依リテ明ニサレタル
同委員會ハ、オルロフ屍体ヲ発見シ、ソレニ思ハシキ拷問ノ
形跡ヲ見出シタ、第三次ノ提議ハ、在極東日本軍司令部
ニシロカス、將軍ノ聲明ヲ日本側ヨリ我方ニ渡シタ後ニ
我方ヨリ之ヲ行フヲ聲明ニ日本側ニ將來中ニ維持スベキ意
圖アルコトニツイテノ言明カアル。右提議ハ、聲明中ニ相互
ニ矛盾シテ中ニ觀念ト相容レナイ數個ノ條項カアルヲ
知レカ説明ヲ求ム希望ト共ニ送付シタ吾々ハ日本側カ頑強
ナル場合ニハ不得己市ヲ砲撃スルコトイフ言明ヲナシタ。回答ハ
又々來カマシ漸ク我方カ終日砲撃ヲ開始シタ時ニツテ
日本側ハ軍使露人老人農夫ヲ送リテ來タ日本側ハ、若ク強
制的ニ連レ來リソシテ貴様ハドウシテ死ヌカト云アリ、察スル処我方
又日本側ト同様軍使ヲ殺スコト思フテ居ヌカ、テアル書キ物
ニツテ、提議ハ日本側ヨリナカッタ、唯口頭ヲ使ヒ、若ク日本側
ハ我方ト和平交渉ヲ開始スルコトヲ欲スル旨傳ヘタカ、テアル
司令部ハ日本側ト和平交渉ヲ開始スルコト迄ニ直ニ戰闘
行為ヲ停止スルコトニ同意シ、自聲明シ同時ニ日本側ヨリ交渉ヲ
行フ代表者

以下次頁

派遣すべき旨申入タル回答を使者ニ交シテ日本側代表者ヲ送リ
 未タ交渉ハ二月二十四日開始ナリ、シロオズ將軍、聲明ニ
 基キ在雷利・ソウ・エート軍ニ対スル軍事行動ヲ停止シ我方
 ト和平條件ヲ結ブベキコトヲ日本側提議シテ和平條件ニ
 ハ尼港、白衛軍部隊、武装解除ヲ求ムコトナリ又最後
 條項ヲ協定條件全部履行後終リ、監視所ヲ我
 方軍隊ニ引渡シ日本側ニシカレシ建物ヲ移ルベキコトヲ求
 ムコト、右和平條件ハ日本側之ヲ受諾シ日本軍代表白
 衛軍代表、市役所代表、赤軍代表之署名ニシテ二月
 二十八日戰鬥ナリシ我方カ之ヲ占領シ、ソ日兩軍隊間
 ニ親善關係ガ樹立シ、トイフ通報接シ居ラト願ミ
 我方トシテ日本人側ニ対シテ先方申ホニ此ニ彼等、軍
 隊及役所、存在シ居ル所、監視所、維持スル權利ヲ與
 ヲ、依ツテ以テ協定、最後條項、履行ヲ免除シタリ
 ンタ、爾來日本側、武装、儘市内ヲ自由ニ歩ムニ居
 ヲ、相互關係極ニ親善的ニ見ヘテ居タリ。
 日本側、タシ、何等カ、免除コト食料品其他、入キニツイ
 日本側、希望ハ終リ、我方喜ビテ、津浦ナリ之ヲ履行シ
 ンタ、日本側亦願、親切ノ態度ヲ示シ、將校連、屢々
 我方司令部ニ入リ、事務上、会谈、外、友誼的ノ談
 話ヲ行ツタ。將校連、ソ政權、對シ自分等ガ同情ヲ持ツ
 ン居ルト言ヒ、自分等モボリシゴキダト稱シタリ、赤イリ
 不シ身ニツケタリ、赤軍ニ對シテ、兵力及武器ヲ以テ又假
 等ガお来ルコトナリ、何ヲ以テモ之ヲ援助スルト約言シタリ

Doc 3/55

No 4

シタ。然ルニ後ニテ判ツタ通り実ハ之へ單ニ假面デス
彼等が準備中ノ裏切行為ヲ隠蔽スルニ假面ヲ着ケタ
モノニ過ギカッタデス。表面的ニハ万事良リ行ツタ。市占領
後二週間ハ確實ト平和ト安靜ガ出来タヤウニ見ヘテ居タ
生活ハノ軌道ニ乘ツタ臨時執行委員會ハ召集セシ市女
員会ハ選與セラレタ。三月十二日ニハ州トワイエートス会開催
ノ曰サレ。右開催後ハ日本側ノキレ依リテ虐殺セラレテ失ハレタ
ル我々軍使、オルワノ其他ヨ言ミ不法ナル白色テロノ犠牲
トナリ者ノ葬礼ガ行ハレルト決定トラレテ居タ。住民モソ軍
隊モソニツテ盛典ニ備ヘテ居タ。総テ者ハ敵義ヲ根絶強ヒ
仕テ、後、翌朝ハ葬式行列指定場所ニ出頭スベキ命
令ヲ受ケタ。健健設ケラレタ営舎ノ中テ靜カニ眠リキ休息シタ。
日本側ハ不変自分等ノ司令部ニアル監視所ノミナラス
日本人、居住シテ居タ殆ド全部ノ家屋ニアル監視所ヲモ占
據シテ居タ。交代ハ日本側監視兵ハ自由ニ市内ヲ歩ム。我々
番兵ハ彼等ヲ抑止シカッタ。日本側ガ結ンダ和平ハ我々同
様ニ神聖ニ遵守シテ居ルガ見ヘタ。然ルニ日本人ハ普通通ニ戰
斗ヲシタム用意シテ居タデス。日本側ハ我々背後ニ裏切リ的
打撃ヲ加ヘント準備シ我々ト和平條件ヲ結ンテ反誼的感
情ヲ一再テラス言明シタ。後狡猾ニ攻撃シ来タ。赤軍司令部建
物ノ前、日本軍部隊ハ夜中ニ時安如クテ聯隊中一個ガ入ッテ
居タ一般集会所ノ前及ヒンシツラノ部隊所屬ノ砲兵ガ居
ツタ家屋ノ前寺院広場並ソヴェート官衙及聯隊司令部ノ

Doc- 3155

附近於テ相当ノ兵力ヲ以テ現レタ。日本側ノ主力ハ司令部附近ニ集中シテ居テ襲撃ハ全ノ不意ニ行ハレテ番兵ハ殺害サレタ。司令部、建物ハ三重ニ取巻カレテシツテ之ニ對シ日本側ハ出風、如キ機関銃及銃砲火ヲ開キ且焼夷爆彈ヲモ投ケツ。恰タソ結果建物ハ四方ヨリ燃ヘ恰タ中ニ在ツ。司令部員達ハ盛ナル砲撃、下ニ燃ヘツ。タル家屋ヨリ奇蹟的ニ逃シ助カツ。同様ニ部隊、駐在シテ居テ建物モ同時ニ砲撃セラレテ焼カレタ。日本軍部隊、悪魔ノ如キ計画ハ明カトナツタ。

一回ノ不意打ヲ以テ指揮官全部ト茫然自失シタ。赤兵集團トテ無キモノニセシト考ヘタモノトシテコレノ計画ハ成功シノカニ見エタ。

然ルニ日本側ハ自由ナル赤軍内ニ士氣及勇氣ニツキテ甚大ナル邱揚ノトルコトヲ考慮シナカッタ。デテル。

最初、銃聲ヲ聞クヤ有ニル方面ヨリバルチザンガ集来ニ變人ヲ投シ出タ。バルチザンハ軍司令部ト連絡ナシ。

個々ニ自命ノ発意ヲ以テ行動シテ小走、シツテ敵ニ對スル攻撃ヲ恰タ散乱シタ。集團ハ各地方ト同士間ニ少シツテ連絡ナシ。ツ、指揮、下ニ統合シタ。直近ニ日本側ハ自命ノ計。

重テ大敗ヲアルト見テ彼等ハツツ據点ヲ退却シ恰タ集結セシト試ミタガ到ル處抵抗ニ連ニ各街路ハ激戰ヲ以

テ我方、占領スル所トナツタ。日本側主力ハ次ノ如ク集中シタ。カザク兵ト日本兵トハ彼等、領事館、兵營、及偕行社簡單ニ言フテ日本人居住家屋全部ニ

No. 5

Doc- 3155

於テ彼等ノ行動ガ固メラシテ居タデテツク
總テ、日本在住民ハ集團ヲナシテ手ニ銃ヲ以テ攻撃ニ参加シ
ノデツク。彼等ハ自分等ノ攻撃ガ裏切的攻撃デアルコトヲ十
分自覺シ之ガ救済サレルモノトハ期待シテ頑強ニ抵抗シ、三
月十二十三兩日激戰續行サル個人ノ家屋ニ居ツク日本側ノ主要
ナル抵抗ハ次カラ次ヘト總テ彈壓セラレシ。三月十四日夕方ニ至リ
唯ニ一ヶ所ノ兵營ニ残ツテ居ク日本部隊一個又ケラ除イテ他ハ全
部片附ケラレタ。コノ時、バートロス、ヨリ日本軍司令官山田將軍
ヨリ尾港ノ日本側部隊長宛ニ即時對シ軍戰闘行動ノ停止、和
締結ニ関スル命令ガ着イタ。命令ハロニア語及日本語ヲ電
報ニ依リ來タモ、デアワラ日本側ノ通訳ニ送附セラレタ。通訳ハ
戰闘行為停止ノ承諾ヲ聲明シタ回答ヲ持參シテ來タ。日本
側ハ武器ヲ引渡シタ。三月十五日正午十二時兵營ニ在ツク日本
連自旗ヲ掲ケテ我方ハ武器ヲ引渡シタ。ソノ時我方ニ百三十名收
容セラレ軍事俘虜トシテ置カレテ居タ。斯ツテ攻撃ハ始メサレ
タ。日本側損害ハ彼等カ頑強ニ抵抗シタ極メテ大ナク武器ヲ持
テ居タ。ハ殆ト全部掃滅セラレタ。我方損害ハ死者十名、傷者百名
余アリ。最モ優秀ニ献身シタル同志ハ數人ト英雄的行爲ノ人ハ戰死
シタ。彼等右行爲ニ赤軍ハ破滅ヨリ救フタ。アルニコニヌ、管己赤
軍司令部ハ尾港ニ於テ日本側ノ攻撃ニツイテ總テ、人々周知スルト爲
ニ彼等ノ裏切行為ニ對シテ、深甚ナル憤激ヲ表明シ、總テ、ロ
ニア人労働者及外國人労働者ニ向テ極東ニアル日本軍ノ背信
的裏切行為ニ對シテ抗議セシコトヲ提議スルモノデアル日本軍ハ
「五五」將軍ノ中立ニ関スル聲明ナルニ拘ラズ又我方ト締結……

以下次頁

Doc 3155

シタ協定、アルミ拘、而、我、方、に、協、定、違、反、す、
シ、又、我、方、が、攻、撃、ヲ、加、ヘ、ル、ヤ、ウ、ナ、ラ、ニ、イ、ト、知、リ、ツ、我、方、
對、シ、テ、突、然、攻、撃、ヲ、加、ヘ、ル、キ、ヲ、知、ル。吾、々、總、テ、都、市、
ガ、本、件、情、報、ヲ、受、取、ル、キ、ヲ、吾、々、ニ、同、答、シ、又、一、般、信、民、
竝、日、本、人、自、身、ガ、如、何、能、心、度、ヲ、採、ル、カ、西、伯、利、ニ、於、
テ、日、本、政、府、軍、ノ、新、タ、ル、流、血、犯、罪、ニ、ツ、テ、如、何、
様、ニ、言、フ、テ、平、ル、カ、ヲ、通、知、セ、ラ、シ、コ、ト、ヲ、望、ム、テ、ア、ル。

「ミラエウスク」堂、又、赤、軍、司、令、官、「ヤ、ト、リ、ヤ、ビ、ツ、イ、ン」

參、謀、長、ニ、ト、リ、ベ、シ、エ、ウ、

石、原、本、ト、相、違、ナ、シ、

書、記、官、ク、シ、ミ、

一、九、三、〇、年、四、月、四、日、第、三、六、二、號、

(赤、軍、中、央、國、家、記、録、部、エ、二、八、
エ、ル、ペ、ー、一、テ、一、八、エ、ル、一、〇、)

本、寫、ハ、赤、軍、中、央、國、家、記、録、部、保、存、原、本、ニ、依、リ、ヲ、集、
メ、テ、ア、ル、

赤、軍、中、央、國、家、記、録、部、長、「ケ、エ、ル、ネ、ウ、ス、キ、」(署、名、)

一、九、四、七、年、五、月、十、九、日、(官、印、)

No. 7

No. 8

alloc 3155

證明書

余、極東國際軍事裁判所、聯檢察部記録室
長「アイズーリ」之ハ茲ニ日本側流血犯罪事件ニ関ス
ル一九三〇年三月二十四日附第九八條「三ウエス」發集令
電報(直通電線受信)ニナル名稱、書類、寫眞寫
ハ余カ前記書類、原本保存中ナル、聯五軍中央國
家記録部ヨリ一九四七年六月十六日受領タルニ、ナル
トヲ証明スル

一九四七年六月二十七日

日本東京

聯檢察部記録室長

「アイズーリ」(署名)